



未来を 語る

ひとりひとりがきっちり自己責任を果たし、その連帯により循環型社会を実現する。そんなまちづくりを目指します。

持てるポテンシャル〈可能性〉を引き出そう

司会 今まで話していただいて断片的に町の顔が見えてきましたけれど、小野町があぶくま地域・田村郡の中で占める位置というのは大きいと思いますよね。

不思議な活気とか元気とか工夫とか、よそから見ていると小野町はいいなあという感じがするんですけど、その辺の町の方とかビジョンという点で、町長の方からお話いただけますか。

さあ、小野町 ルネッサンスだ

町長 小野町は昔から地の利を持っています。県道にしても小野〜勿来線、小野〜矢吹線、小野〜郡山線、小野〜富岡線などほとんど網羅されています。

さらには福島空港から小野に通じるトライアングルハイウェイも整備されつつあります。

そういう中で、公立の病院もありますし、高等学校や、警察署、変電所、JR駅が二つもあります。

佐藤知事もおっしゃっています



だが、「小野町は将来に向かって発展する町である」という評価を頂いており、この地の利を活かして、活気に溢れ、笑顔でいっぱいのもちづくりを目指して、日々頑張つて参りたいと思っています。

司会 首都機能移転問題も含めて小野町は、将来大きく発展するポテンシャルだけでなく、「人の和」という点でも優れた点があるのではと思うんです。ある種のまとまりも感じますし…。

ただ将来のポテンシャルがあるからといっても、確実に実行して実現していくには、やはり個人の力だけでは限界があるし、行政のサポートやバックアップがなくては行けない点はたくさんあると思います。この将来の豊かな可能性をどうやって形にしていけるか？特に今日のテーマは産業おこしを通してということなので、まとめをお一人ずつお話しただきたいと思えます。笑顔とがんばりのまち小野町の実現の為にそれぞれの立場でどういう努力をしていけるか？お話しください。

先崎 小野町は横につないでいた場合、相乗効果がある施設がいっぱいあるんです。たとえばサラブレッド牧場と酪農家をジョイントさせて、乳製品の開発や新しい観光スポット作りが可能だと思います。

周りに人が集まり良くなつてくれれば、当然私達の商売も良くなつてくるんです。先程の有機肥料の問題も含めまして、横の連携をうまく関連づけさせることによって何かもつといいものが生まれ、ここにも相乗効果があるんじゃないかと思えます。

あと、町の商工会でも取り組んでいます。高齡化に伴う町の形態も変化させていかねばならないと思います。やはり住んでいる方が満足しない町は、いい町ではないと思うんです。そういう点を踏まえて、町長さんには第一に住みよいまちづくりを推進して欲しいと思います。

佐藤 高齡化に向けた対応という点で今の現状はお年寄りが歩いて買物物ができないんですね。人にやさしい接し方として、二軒二軒の店にテーブルを置いて、お菓子を置いて、くつろいでもらおう、そんな心遣いがあるといいと思います。

昔はどこでもそうやっていたかと思えますが、今はそういうところは少なくなっています。そんな店作りを心掛けたいですね。広場があるところにはベンチやテーブルを置いて日向ぼっこか情報交換をすれば、楽しく過ごせるのではないのでしょうか。

それとじいちゃん、ばあちゃんに学んで、地域ぐるみで子育てやコミュニティのできるまちづくり、商店街づくりを目指して行きたいと思えます。商店街が賑やかでないとお祭りも衰退して面白くなくなりますから…。

司会 まちへの要望など何かありますか？

先崎 商店街の中にお年寄りが集まって日向ぼっこしたり、お茶を飲んだりできるスペースを作つてあげようということは、本当にいいことだと思います。又、その中に子供達も入っていけるスペースが商店街にあればいいことだと思います。

